

秋の全国交通安全運動

第四十九号 (秋号)

交通安全通信

【期間】令和二年九月二日から三〇日までの一日間実施されます。最終日の九月三〇日は「交通事故ゼロの日」です。

【スローガン】安全をつなげて広げて事故ゼロへ

【運動の重点】

- 一 子供を始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保
- 二 高齢運転者等の安全運転の励行
- 三 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- 四 自転車安全利用五則の周知と徹底
- ① 自転車は車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で車道よりを徐行
- ④ 安全ルールを守る

⑤ 子供はヘルメット着用

夕暮れ時は注意

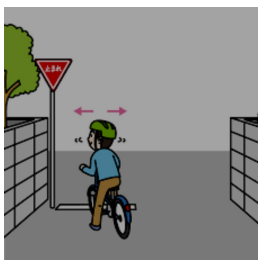
秋になると暗くなるのが早くなり、つても通る道路も暗くなつて見えない。車はライトがあたるところを気にして、歩行者や自転車に気づくのがおくれ、交差点は交差点、あっても見づら

交差点は要注意

交差点は交差点、あっても見づら

～地域安全教育センター～
スルガ自動車学校

〒424-0204
静岡市清水区興津中町522-1
tel 0120-017-120



場所が多くあります。また車のライトが見えても、車が来ているに気づかず道路を渡つてしまふこともあり、事故につながりやすくなります。ほかに家がならぶせまい道路では植木や壁など、見づらい場所が多く暗くなるさらには分りにくくなります。しっかりと確認しましょう。



こんな所も注意

つぎのような場所も暗くなつたら注意して通るようになりましょう。

① 信号機のない横断歩道

車からは歩行者や自転車が分かりにくく、渡る人にも気づかないことがあります。



② 道路のまがり角
まがり角の先からくる車がこちらに気づかないことがあります。



③ 学校や公園などでいりぐち

学校はフェンスや植木、壁で見づらく、明るいときと同様に注意が必要です。



④ 公園などでいりぐち
学校や公園など、このように所がないか確認しましょう。通るときも車がこないか確認して通りましょう。



④ 街灯と街灯の間
夜は街灯があってもその間は暗く見づらくなります。歩道を走る自転車は歩く人にも注意が必要です。



学校から帰るときに、遊びに行く場所などにこのように所がないか確認しましょう。通るときも車がこないか確認して通りましょう。

暗くなったら目立つこと

暗い道を通るときは車から目立つようにしましょう。白や黄色などのあかるい服を着るだけでなく反射材やライトを使うことでまわりを自分が見ることができ、事故にあいにくくなります。



歩く人はどうする？

寒くなってくると黒や青など暗い色の服を着る人が多くなり、車からは見づらくなるため事故にあいやすくなります。



ヘッドライト
下向き

黒っぽい服装
約26m

明るい服装
約38m

反射材着用
57m以上

なってしまう。あかるい色の服を着るとよいでしょう。服のほかにも反射材を使うといいです。反射材は車のライトを反射します。運転する人は遠くから確認できるため事故をふせぐことができます。反射材は車から五メートル以上うしろから確認できるようにする必要があります。

反射材にはタスキやシールなどいろいろな種類を使えます。タスキはカバンに入れておけるため便利です。シールは好きなところに貼ることができます。テープは好きな長さで切って使えます。どちらも使えます。



のバカとやぼうし、カバンにはとよいでしょう。キーホルダーに付けて使うこともできます。反射材はタスキやカバンに入れておけるため便利です。シールは好きなところに貼ることができます。テープは好きな長さで切って使えます。どちらも使えます。

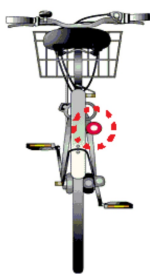
自転車はどうする？

自転車も乗る人は歩く人と同じように反射材を使いましょう。



また、自転車にも反射材を付けなければいけません。反射材がつけられていないか、こわらしているか、光が反射しているかをおとりの人と話し確認しましょう。

①自転車のうしろ交通ルールで決まらなからうしろから反射したライトで反射し



た光が見えなければいけません。②まえとうしろのタイヤ横からの光で自転車があることを確認できます。道路を渡る時に使います。③ペダル車に自転車の大きさをおしえることができ、車が通るときにぶつかるのをふせぎます。このほかにもかごやハンドルに付けるとまえからの車に気づいてもらえます。

歩く人に気をつけて

友達と遊んだり塾の帰りで暗くなってきたときに自転車で乗る人はつておきましょう。

自転車も車の仲間です。夜はなるべく自転車で乗らないようにしましょう。横断歩道を自転車で走るのはやめましょう。横断歩道を渡りましょう。



最後までお読みになりました。ありがとうございました。